

## Economate 四半期マクロモデル予測結果

エコノメイト四半期モデル（最新版）による予測結果は以下のとおり。

		2006	2007	2008	2009	2010	2007/ 2006	2008/ 2007	2009/ 2008	2010/ 2009
実質国内総生産(季)	GDP@	552,967	562,731	542,560	530,014	537,700	1.8	-3.6	-2.3	1.5
実質民間最終消費支出(季)	CP@	306,941	311,152	305,575	306,917	310,444	1.4	-1.8	0.4	1.1
実質政府最終消費支出(季)	CG@	95,666	97,131	97,017	98,083	99,064	1.5	-0.1	1.1	1.0
実質民間企業設備投資(季)	IP@	86,975	88,014	82,704	71,433	75,152	1.2	-6.0	-13.6	5.2
実質民間住宅投資(季)	IH@	18,362	15,911	15,297	12,460	13,066	-13.3	-3.9	-18.5	4.9
実質公的固定資本形成(季)	IG@	21,166	19,818	18,455	20,345	19,082	-6.4	-6.9	10.2	-6.2
実質民間企業在庫投資(季)	JP@	2,658	2,755	2,301	-1762.3	-3814.8	3.7	-16.5	0.0	116.5
実質財貨サービスの輸出(季)	EXC@	82,079	89,739	80,445	71,485	80,488	9.3	-10.4	-11.1	12.6
実質財貨サービスの輸入(季)	MC@	60,559	61,682	59,097	51,873	55,592	1.9	-4.2	-12.2	7.2
名目国内総生産(季)	GDP.N@	510,781	515,412	494,661	474,375	476,896	0.9	-4.0	-4.1	0.5
民間最終消費支出デフ	PO@	94.6	94.3	94.3	92.3	92.2	-0.3	0.0	-2.1	-0.2
国内企業物価指数総	CGPI	102.5	104.9	108.2	101.2	96.1	2.3	3.2	-6.5	-5.0
完全失業率:合計(季)	URATE@	4.1	3.8	4.2	5.3	5.4	-6.0	8.7	26.8	1.8
外国為替相場(東京)	EXR	116.9	113.6	100.4	92.8	94.0	-2.8	-11.6	-7.6	1.3
通関原油価格	POILJ	63.7	77.9	90.1	69.4	83.8	22.4	15.6	-23.0	20.7
米・実質GNP(季調)	USGNP@	13,088	13,454	13,316	12,890	13,160	2.8	-1.0	-3.2	2.1

### 主な推定結果:

- ・為替レートは、2009年第3四半期に93円/ドルとなった後、次第に円高に向かい、2010年第2四半期に88円/ドルをつけた後、円安にふれて2011年第1四半期は100円/ドルとなる。
- ・経済成長率は、2009年-2.3%、2010年1.5%。2009年は、景気後退が下げ止まりとなる。ただし、回復過程は外需頼みとなり、政府の内需振興策はあまり利かない。2010年は、アメリカやアジア景気の回復などから緩やかに回復。
- ・物価はデフレの状況を深める。原油、資源価格などは低下したが、需要低迷の影響が大きい。
- ・失業率は2010年で5.4%と高止まり。
- ・本試算は、内閣府2010年3月11日発表分のGDP速報値を利用している。
- ・エコノメイト四半期モデルは、データ改訂とモデル試算が速やかに可能なシステムとなっている。

予測結果の詳細内容については、Economate 四半期モデル&データをご利用下さい。

### 【内容に関するお問い合わせ先】

湘南エコノメトリクス E-mail: economate.info@gmail.com

### 【製品に関するお問い合わせ先】

東洋経済新報社データ事業局 電話: 03-3246-5580 担当者: 高橋